穀物ソリューション・カンパニー
SHOWA
昭和産業

News Release

2025 年 7 月 4 日
昭和産業株式会社

J2 いわき FC イベント『海ごみゼロ DAY 清掃活動』に協力

～ 当社の取り扱う穀物由来の非食品用途バイオマスを使用したごみ袋
「大地のMino-Re:（みのり）」を配布 ～

昭和産業株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長執行役員　塚越英行）は、2018 年よりビジネスパートナーとしていわき FC を応援しています。

この度 2025 年 7 月 12 日（土）に行われる 2025 明治安田 J2 リーグ 第 23 節 vs V・ファーレン長崎において開催されるイベント「海ごみゼロＤＡＹ～薄磯海水浴場清掃活動～」にて、当社バイオマスを使用したごみ袋**「大地の Mino-Re:」（だいちのみのり）**が配布されることになりましたのでお知らせします。

ごみ拾いウォーキング（過去の実施イメージ）

ごみ袋「大地の Mino-Re:」イメージ

■試合日時
7 月 12 日（土）18：03 キックオフ（16：00 開門）

■対戦
いわき FC vs V・ファーレン長崎

■試合会場
ハワイアンズスタジアムいわき
（〒972-8311 福島県いわき市常磐水野谷町竜ケ沢 308）

■イベント内容
"海ごみゼロウィーク"に合わせて、薄磯海水浴場の清掃活動をします！
・実施時間： 8:00～9:00 （7:50 集合）
・集合場所： 薄磯海水浴場
・実施場所： 薄磯海水浴場
＜当社協力内容＞
① 当社バイオマスを使用したごみ袋「大地の Mino-Re:」配布
② 海ごみゼロチャリティー抽選会へのプレゼント提供（家庭用商品詰め合わせ）

※詳細はこちらからご確認ください。https://iwakifc.com/2025/06/20/matchpartner0712/

＜バイオマスを使用したごみ袋「大地の Mino-Re:」について＞

「大地の Mino-Re:」は、原料の一部に非食品用途のバイオマスを使用することにより、石油由来プラスチックの使用量を削減し、二酸化炭素（CO_2）排出を抑えた設計となっています。
製品化にあたっては、千葉県船橋市役所などで実証実験を行い、ごみ袋に適したバイオマスの配合検討などを重ねてまいりました（2022 年 6 月発売開始）。「大地の Mino-Re:」という商品名には、大地で育った穀物から得られるバイオマスがごみ袋として活用され、その後も循環して再び植物が実るように、との想いを込めています。

※本製品は株式会社バイオポリ上越（本社：新潟県上越市、代表取締役 武田豊樹）との共同開発によるものです。

「大地の Mino-Re:」イメージ

「大地の Mino-Re:」の商品特長

1．原料の一部に非食品用途のバイオマスを使用
➡ 石油由来プラスチックの使用量を約 20%削減
➡ 焼却時の CO_2排出量を約 20%削減
当社の取り扱う穀物(小麦、トウモロコシ)由来の非食品用途バイオマスを配合しております。

2．ライフサイクルにおける CO_2排出量を約 10%削減※
製品のライフサイクル全体(原料調達、製造、流通、使用、廃棄など一連の過程)で
CO_2排出量が削減できることを確認しております。
※石油由来ポリエチレン 100%品との比較

3．植物素材由来の香りがあり、ラフな質感で手になじみやすい
植物素材由来の細かな凹凸があり、見た目や香りでバイオマスを感じられる仕上がりです。

＜関連情報＞
・環境への取り組み
https://www.showa-sangyo.co.jp/corporate/sustainability/environment/
・バイオマスを使用したごみ袋「大地の Mino-Re:」発売のお知らせ（2022 年 6 月 16 日リリース）
https://www.showa-sangyo.co.jp/LinkClick.aspx?fileticket=MTkhY0nfDT8%3d&tabid=442&mid=1149

昭和産業は、
日本財団「CHANGE FOR THE BLUE」の趣旨に賛同し、
海洋ごみ削減に取り組んでいます。

＜本件に関する報道関係の方のお問い合わせ先＞
昭和産業株式会社　企画部コーポレート・コミュニケーション室
TEL：03-3257-2042　担当　関口・赤松